

インド太平洋諸国の次世代リーダーと「防災」を考える

～ 日本と海外 10 か国の若手研究者や実務家 15 名が、東北、神戸、横浜を訪問 ～

国際交流基金（JF）は、9月13日（水）から19日（火）にかけて、日本を含むインド太平洋諸国 10 か国から若手の研究者や実務家 15 名を招へいし、「防災」をテーマにしたスタディツアーを実施します。

本事業は、JF が本年度開始した「国際交流基金インド太平洋パートナーシップ（Japan Foundation Indo-Pacific Partnership Program, 以下 JFIPP）」（※）プログラムの一環です。将来、インド太平洋地域において政策形成への参画が期待される若手専門家を対象に、インド太平洋地域に共通する課題をテーマとして研修・交流・ネットワークの機会を提供するものです。本事業を通じて、国際的な知的対話の促進、次世代リーダーの育成、そして地域協力を推進する長期的な協力関係と、関係者間のコミュニティの形成を目指します。

※事業概要：<https://www.jpff.go.jp/j/project/intel/exchange/jfipp/index.html>

今回は、オーストラリアのシンクタンク「オーストラリア国際問題研究所（Australian Institute of International Affairs）」との共同で、公募により選ばれたインド太平洋諸国の若手専門家 15 名のグループを構成し、地域社会の防災やレジリエンス向上について域内連携に向けた提案や政策提言を行うことを目指しています。

プログラムは 1 年間の予定で、今回の訪日研修に加え、インド太平洋地域の異なる 2 か国（豪州及び大洋州島嶼国を予定）で行われる 1 週間程度の研修のほか、オンライン・ミーティング等を通じて交流を深めます。参加者の出身国は、日本、オーストラリア、米国、シンガポール、マレーシア、インド、フィジー、ソロモン、クック諸島等 10 か国にのぼります。

この訪日研修では、まず南三陸と石巻を訪問し、東日本大震災の震災遺構や復興の様子を視察します。神戸では、「人と防災未来センター」と兵庫県立大学を訪問し、阪神・淡路大震災を踏まえた防災の取組を視察します。また、横浜では、「ぼうさいこくたい 2023」に参加し、日本の防災関係者らと意見交換を予定しています。

記

事業名称：国際交流基金インド太平洋パートナーシップ／ネットワーク・フェローシップ 訪日研修

主催：オーストラリア国際問題研究所（AIIA）、国際交流基金（JF）

主要日程： 9月14日（木） 南三陸と石巻の震災関連施設を訪問
9月15日（金） 人と防災未来センターと兵庫県立大学を訪問
9月17日（日）～18日（月） 「ぼうさいこくたい 2023」参加、防災関係者との意見交換
9月19日（火） 都内視察・関係機関訪問・面談（内閣府等）

アドバイザー：阪本真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp